

つなぐ

<No.5>

平成23年10月1日

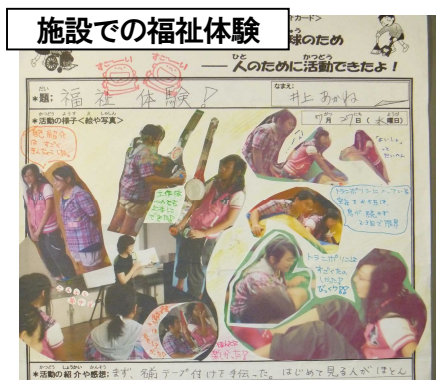
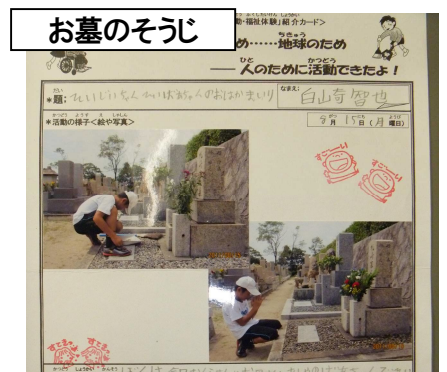
*校訓；「本気」 *学校教育目標；「心の豊かな子」「生き生きと学ぶ子」「はつらつと健康な子」

三島立東小学校長 渡辺 輝彦

家族のため・地区のため……地球のために

夏休みに、1年生から6年生まで共通の課題を与えたことは以前お知らせいたしました。「人のために活動してみよう」という投げかけの、<「お手伝い・奉仕活動・福祉体験」紹介カード>です。

1か月も前のこととなりますが、今回は、夏休み中の、子どもたちの熱き健闘ぶりをお知らせいたします。



他にも、次のような多彩な取り組みが見られました。ほとんどの活動は、子どもたちが進んで挑戦してみたものでしょうが、中にはきっと、親御さんからの上手な投げ掛けが生み出した活動もあることでしょうね。

- * 家の手伝い <庭や風呂の掃除・食器洗い・洗濯物の片付け・料理・花の植え替え……>
- * 地区の祭りの手伝い <準備・もてなし・しゃぎりの演奏……> * 地区の「ごみ集積所」の整備
- * 「介護施設」「養護施設」での楽器演奏や特技の披露 * 「盲導犬」との触れ合い * 「広報」配り
- * 親の職場での手伝い * 地区の道路や川、神社や公園等のごみ拾い * 祖父母の家の掃除 ……等

なお、これは強制ではなく“自由課題”でしたので、「紹介カード」を提出しない子もありましたが、きっとどの子も「人のために活動してみよう」という挑戦があったことと思います。

そして、「活動の紹介や感想」を書く欄には、次のような、子どもたちの満足げな声が記されていました。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| ・「暑くて大変だったけど、やり終わったら気持ちよくなりました。」 | ・「初めて、家の人の大変さが分かりました。」 |
| ・「また、挑戦してみたいと思います。」 | ・「家の人(地域の人)にほめられて、うれしくなりました。」 |
| ・「これからは、ほかの人のことを考えて生活していきたいと思いました。」 | ……等々 |

また、それに応える「家の人言葉」の欄には、親御さんの温かいねぎらいの言葉が書かれていました。

- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|------------------------|
| ・「暑い中、よくがんばりました。」 | ・「ありがとう。助かりました。」 | ・「これからも続けてくれるとうれしいなあ。」 |
| ・「よい体験ができてよかったね。」 | ・「人の(地区の)役に立てたなんて、立派です。」 | |
| ・「ごみや環境について関心を持たたのは有意義でした。」 | ・「頼まれなくても進んでやってくれました。」……等 | |

……“宿題になっていたから、仕方なくやった”というのが子どもたちの本音かもしれません。

でも、「投げかけなければ、何も始まらない」と思います。ここでの体験を契機に、子どもたちに、「人のために活動してみよう」という思いがちょっぴりでも芽生えてくれることを期待しています。どうかこれからも、学校と家庭・地域が、連携して子どもたちを育てていくことにご協力いただければ幸いです。

“学校”の、知られていない・見えな部分

皆さんは、今年度から、「小学校1年生で『35人学級編制』が実施」されていることをご存知でしたか？ また、三島市では、「市内全小学1年生の学級に1人ずつ『支援員』を配置」したことをご存知でしたか？

9月中旬に、市からの調査依頼を受けて、1年生の保護者にアンケートをお願いしました。そして、上記のようなことをたずねたのです。すると、半数近くの親御さんに、この2つのことが知られていないことに驚かされました。さらには、「小1支援員が子どもたちと活動しているところを見たことがない」という親御さんも3分の1くらい……と、学校のPR不足を大いに反省させられる結果でした。しかし、中には、2人の「小1支援員」が配置されているおかげで、「より多くの子への細やかな指導や時間の無駄の短縮が生まれている」「全体指導をしていて担任が動けないような時にもフォローできる」というような成果を認めてくださっている親御さんも数多くいらっしゃいました。

また、市からはもう1人、「低学年支援員」も配置されています。こちらは主に、2年生の学校生活支援や、3年生の校外学習での引率補助をお願いしています。皆さんには、<“学校”の知られていない・見えな部分>でしょうが、この3人の存在はとても大きく、低学年の教育活動をスムーズに進めていく上で欠かせません。

また、学校給食の「栄養士」の仕事も、<“学校”の知られていない・見えな部分>かもしれません。

毎朝、「調理員（その家族まで）の健康観察」から始め、給食室の「水道の残留塩素」を測定します。（『日常点検票』には94ものチェック項目が並んでいました。）

そして、調理員と共に、業者から届く食品をきめ細かく検査し、「メーカー名」や「産地」、「異物の混入」から「包装の破れ」まで調べ、確実に記録していきます。とにかく、“安全・安心”を心がけているのです。

その後、調理員とその日の献立を確認しながら、調理の工程・作業の段取りを行うのです。

なお、献立表には「1食分のエネルギー（カロリー）」まで記されていますが、当然のことながら、これを元に、低・中・高学年、そして教職員のそれぞれに必要な量を計算して作っていくのです。

子どもたちには、こうした「栄養士」「調理員」の日々の努力を、“残食0”という形で応えてくれることを期待しています。

さて、今年度は、子どもたちの教育活動をお知らせする「学校だより『本気』」に加え、この「連携だより『つなぐ』」を発行しています。『本気』の紙面に載せきれない子どもたちの活躍や、親御さん・地域の皆様の教育活動への前向きな参画についてお知らせし、家庭・地域との連携をさらに強めていきたいと考えているのです。

なお、皆様は、「東小学校のブログ(ホームページ)」を御覧になったことがありますか？ できる限りタイムリーに発信しようと、こまめに更新していくよう努めています。インターネットで、「三島市立東小ブログ」と検索するだけで見られます。関心のある方はのぞいてみてください。

